

紙・パルプ懇談会 委員アンケート結果のまとめ

1. 紙・パルプの製品分野において、物流効率化の阻害要因となっている問題・課題について、ご教示ください。

意見①

- ・当日配送、納期指定が多い。
- ・下請け会社が中小、零細企業が多く小口配送が多い。

意見②

- ①時間指定
- ②待機時間
- ③付帯条件 *原則 車上渡し
 1. 納入先でのバーコード貼り付け・ロール番号記入
 2. 乗務員による荷卸し作業
 3. 俵積み

意見③

- ① 時間指定の緩和 特に朝一比率の低下。
- ② パレット下しの推奨。手積み手下しがあり、納入時間に時間を要す。
- ③ 下し時間の待ち時間の緩和。一部ユーザーでは荷下ろし待ち時間が長い。

意見④

(阻害要因)

- ・在庫で溢れているのに短納期、小ロット多品種
- ・土日祝日納入、24 時間納入、時間指定、日配
- ・手積み手降ろし、自主荷役（こんな言葉があるか？）
- ・指定パレットが多い、汎用パレットが足りなく積み替えが発生
- ・段ボールシートの納入はほぼ手荷役
- ・農配（中にはユーザーの降ろし場所の整理もあり）

- 納入先ラインへの供給や二階上げ（3階も）、ラベル貼り等の付帯作業
- 「紙・パルプ業界はこういう業界」というユーザー認識
（課題）

段ボールは本来受注産業であるはずが、自社倉庫がユーザーの倉庫がわりになっている。受注で頭を下げ、出荷で頭を下げる悪循環。

差別化できない商品であるために、受注競争・サービス競争の成れの果てのツケやシワを全て運送業者に回している。

営業マン教育をしっかり行わないと、ユーザーになめられ、つけ込まれる。

2. 製品出荷、資材調達などの物流では、自助努力による改善取組だけではなく、取引相手（出荷・調達先の事業者、物流事業者等）と連携を強化した取組みが効果的ですが、連携した取組みが進みにくいのが実態です。
貴社のお荷物物流、調達物流の効率化（作業員、運転者の働き方改革の実現）に向けて、取引相手とどのようなお取組みが必要になるとお考えでしょうか。

意見①

- 時間指定、納期指定した場合には速やかに荷卸しをして頂く。
- 納期指定を期間納期に変更して頂く。

意見②

- ① 物流問題は差し迫った問題であることを発荷主・着荷主・物流事業者が共有することが最大の事項。まずはそれぞれのトップが認識し、実務者に降ろしていくことが大事。
- ② 実務者はそれを受け、解決のため具体的に何をすべきかスケジュールを立て実行していく。

意見③

ホワイト物流の自主行動宣言をしている取引相手には宣言に見合った行動を
してもらう様に要請

- 一緒に発注（受注）から納品までの実態を確認、各現場検証する
- 共に実証実験をする
- 業界が行動を一にすること

3. 物流効率化に向けて、リードタイムの緩和（製品出荷、資材調達）、製品の設計変更、物流事業者との連携の強化、共同輸配送など、お取り組みされていることがあればご教示ください。

意見①

山陽便・山陰便・四国便・和歌山便・京都便 等

意見②

- ① 業務部が物流問題を阻害しているユーザーをピックアップし、ユーザー別に何が問題かを（朝一比率、納入時間の変更頻度、手下し等）営業マンに伝達し、交渉の必要性を連絡。
- ② 営業マンが物流問題（ホワイト物流運動等）をユーザーに説明し、理解を求め改善に努めている。

意見③

- ・数社と実証実験中
リードタイム、パレット化、納入ロットの集約、
- ・問題ユーザーへ要請
リードタイム、パレット化、納入ロット集約、危険作業・違法駐車回避等

4. 貴社の「製品物流（出荷）」において、生産性の向上、トラックドライバーの拘束時間の削減など、改善に向けてお取り組みされていることがあればご教示ください。

意見①

時間指定を削減して効率配送に協力している。

意見②

○取組済

- ・当日配送及び時間指定分の運賃値上げ
- ・受注締め切り時間の繰り上げ
 - ⇒当日配送、時間指定配送大幅減
 - ⇒早朝配送及び宵積待ち拘束時間が減少
- ・小口配送分の運賃単価引き上げ
 - ⇒小口配送の減少 纏まった単位での配送増
 - ⇒積載効率アップ
- ・デジタコ導入（自社車両）
 - ⇒手書き日報の排除
 - ⇒ドライバーの勤務内容の把握（手待ち時間等）
- ・らくらく配送システム導入（専属協力会社車両）
 - ⇒PCでの動態管理（車両の位置情報見える化）
 - ⇒日報の自動出力
 - ⇒配車⇄ドライバー間の無線回数減 業務の効率化

○今後の取組み

- ・日曜日の新聞用巻取紙の配送取り止めを荷主に依頼
- ・ドライバー付帯作業の洗い出し
 - ⇒各荷主へ改善要望

意見③

- ①ケース出荷時間短縮のために、仮置き場の設置検討。
- ②ラップ巻きを製造側でする事により、積み込み時における時間が短縮。
- ③朝一届けユーザーのリストを作成して前日（宵積み）に仕上がる仕組みを構築。（宵積みする事で朝からの積み込み時間の緩和）
- ③ 外注化や工場間での移管を効率的に活用し、客先へのデリバリの最適化を実施中。

意見④

- ・納入先への到着後の待ち時間改善の為に、トラックドライバーの出発時間の見直し
- ・待機が常態化している場合には荷主へ改善の申入れ
- ・構内の物流作業者が積込む製品を事前に準備しトラックへ積込むことでトラックドライバーの荷役時間の短縮

5. 貴社の「調達物流（荷受け）」において、生鮮性の向上、トラックドライバーの拘束時間の削減など、改善に向けてお取り組みされていることがあればご教示ください。

意見①

原紙搬入トラックの入荷が集中して荷降し待ちにならないよう業者別でリードタイムを確認し、ある程度仕入先別に発注できないか検討、結果入荷時間が分散し荷降し待ち時間の緩和が図れた。更にトラックドライバーが発荷主先での積込待ち時間が短縮できないか検討に入る。当方からの発注時間を午後（2時～3時）から午前に変更できないか。何故午前中に発注できないのか、ユーザー理由、原紙発注担当者の負荷、仕事内容分析、発注業務の担当分散化等も分析確認の上、発注時間の前倒しが可能か否か改善案検討中。

意見②

・当社が運営する倉庫において、人員の増員とフォークリフトの増車を行い、荷受および出荷に関する荷役時間改善に取り組んでいる。

6. 本懇談会の検討テーマ、運営等について、ご意見、ご要望等があればご教示ください。

意見①

懇談会の内容を実践して検証して行くことが大事。

意見②

- ① 個々の交渉はその当事者同士で行っていくが、物流問題が差し迫った問題であるという機運をもっと政治主導で盛り上げて欲しい。そうなれば交渉が行いやすく効果も大きなものとなる。
- ② 発荷主・着荷主・物流事業者だけでなく、ホワイト物流そのものが物流危機解消について必要な取組であることを世間一般が認識できるようマスコミ等を利用し更なる運動の拡散をお願いしたい。

意見③

恥ずかしながら、今回の実証実験（大和紙器・レンゴー尼崎・レンゴーロジ）を通じて発注⇒受注⇒納品までの実態が分かった。

各事業会社も担当者任せにして、上層部が詳細を把握していない、総論でものを言っている事例が多いのではないかと感じる。

責任者がもっと現場に入り、責任者同士が改善に向けた各論の議論を行い解決を図るべき。